

(2) 高血圧の治療をしても狭心症や心筋梗塞のような冠動脈疾患は増え続けており、降圧薬自体が危険因子として作用しているらしいからである。

③ 薬の副作用で生活の質 (quality of life) を犠牲にする可能性がある。

このようにさまざまな問題点がありますが、今回はカルシウムパラドックスに焦点をあてて概説します。

腔を拡げたり狭めたりします。したがってカルシウムパラドックスで動脈の筋細胞内のカルシウム濃度が上昇すると内腔が狭窄となり、心臓はより強く収縮しなければ必要な血液を循環させられなくなります。これが最高血圧(収縮期血圧)が上がる理由です。他方、動脈の内腔が狭いと、心臓の拡張期の血管抵抗も強くなりますので、最低血圧

りません。本剤の場合、血管拡張作用に伴う頭痛、顔面紅潮、動悸などだけでなく、あらゆる情報伝達を阻害する可能性があります。が、心臓を動かしている刺激伝導系の抑制作用が指摘されています。

Hg以上で降圧薬を服用している人の場合でも、副作用が心配な降圧薬を減量したり中止できる可能性があります。すなわち高血圧の非薬物療法、換言するなら自然と共に生する生活習慣で血圧をコントロールする最大の利点は、冒頭に高血圧治療の問題点として指摘したすべてを解消できることなのです。

高血圧治療の問題点

高血圧に対する降圧療法で脳卒中が減少したことはまぎれもない事実ですが、反面、安易に薬に頼り、生活習慣を軽視する今の医療に反省が求められています。すなわち

カルシウムバランスが崩れて、高血圧になる

(**拡張期血圧**)も上がります。たゞお医学的に最低血圧が重視されるのは、最高血圧の上昇に伴う負荷が一時的なものに対し、最低血圧の上昇は持続的な負荷になるからです。

（）と思ひますか、カルシウムハ
ブドックスを起こさなければ、
案で無理矢理カルシウムチャ
ンルをブロックする必要はない
舌です。すなわちカルシウム代
謝を正常にすることこそ最良の
カルシウム拮抗剤
になるのです。
なお本剤はこれ

薬使用の有無に拘らず、必ず非薬物療法を併用してください。

假想と光線

発行所
〒153 東京都目黒区目黒
4-6-18
サナモア光線協会

剤とかカルシウムチャレンルブロッカーという別の呼び名がある

として非薬物療法で重視され
ていることは、人類に特有の現



宇都宮義真撮影

渡し舟



サナモアはどんな病気に効きますか?

「サナモアはどんな病気に効きますか?」とはしばしば受ける質問です。答えはすこぶる簡単で、「サナモアは内科領域の病気でも、外科領域の病気でも、どんな病気でも効果があります」と答えています。その理由の一端を説明します。

日光療法から生まれたサナモア

太陽光線を利用した日光療法は、太古の時代から、健康増進病気の治療に有用と信じられ用いられてきました。サナモアはこの日光療法を母として、太陽光線を人工的に再現した治療法として生まれたのです。

今、仮に太陽のない地球を想像してみてください。地球はたちまちにして冷却し、一大氷原と化し、繁茂していた草木はごとごと枯れ、山野に嬉々として戯れていた動物にも悲惨な後が訪れるであります。考

太陽光線を身にまとい、太陽光線を食し、太陽光線の中で住んでいます。我々の衣食住も太陽光線なしに何一つ得ることはで

きません。太陽は変わることなく温かく、太陽光線を地球に送り続けており、斯くの如く我々の生活と密接に関係しているのです。

而して太陽光線の光化学作用と熱作用が地球の万物を生成した根源であることを考へるなら、太陽光線が生態系に極めて大きな影響を及ぼしていることは容易に想像できます。即ち太古の時代から人々が太陽を崇拜したのは当然過ぎるほど当然なことなのです。

口り工氏の大いなる業績

その後、キリスト教や仏教の教えもあって、病気の治療が日光の遮られた暗い教会や寺院の中で行われるようになり、日光療法は却って病気に有害とされ、一時的に衰退した時代もありました。

近年になって日光療法の大いなる効果を再確認する端緒をなしたのは、今から僅か二十五、六年前(現時点からは約百年前)、ロリエ氏がスイスのレザンで世界で最も好成績で、従来の予

防医学ならびに治療医学にまさに画期的な一石を投じたのです。

サナモアは太陽光線の全波長を力バー

太陽光線には紫外線と赤外線と可視線が含まれており、日光療法が諸病に効果があるのも、太陽

光線の全波長の複合作用によるものであります。即ち太古の時代から人々が太陽を崇拜したのは当然過ぎるほど当然なことです。

太陽光線には紫外線と赤外線と可視線が含まれており、日光療法が諸病に効果があるのも、太陽

光線療法が再評価されたのです。

サナモアの広範な適応症

サナモアは太陽光線を再現する上で最も理想的で簡便な有芯カーボンを用いたカーボンアーチ灯です。殊に発光素を用いた有芯カーボンは、一九二七年以降にアメリカに於いて長足の進歩を遂げ、あるものは紫外線を放つて、あるものは赤外線を、またあるものは可視線領域の光線を多量に放射するなど、その選択は病状に応じて自由自在で、而も一台の機種でいかなるカーボンでも使用できます。これがサナモアはどんな病氣にも効果があります、と答えている一半の理由です。現在、サナモアは健康増進から臨床各科のすこぶる広範囲な病氣に対して応用され、日々斬新な治験例が報告されていますが、サナモアがこれまで以上に広く用いられる事によって、ますますその真価を發揮するでしょうことを信じています。文明社会に住む現代人こそ、日光療法の真髓に徹した自然人にならなければならぬのです。

「光線」

昭和9年6月5日発行

「光線療法の領域について」
を引用した。

米国合同委員会の勧告

高血圧の長期降圧療法は、血圧が高いと脳・心・腎に重い合併症を生じ易くなり、血圧をコントロールすれば合併症を防げる、という想定で行われてきました。確かに長期降圧療法によ

に米国合同委員会はこの点に關し、降圧療法の第一段階に非薬物療法をするよう強く勧告しました。

食塩の摂り過ぎはカルシウム

土壤のカルシウムが 脳卒中を予防す

ウムパラドックスを助長する」とが判明し、カルシウムの重要性はますます高まっています。

されることは多くの研究により示されています。しかし痩せた患者ではやってはいけません。これは却って心血管合併症を誘発する恐れがあるためです。

ルの過剰飲酒は高血圧の発生頻度を高めるので制限するようになると勧告しています。同勧告から制限の目安になるアルコール量を引用しますと、ビールなら大

宇都宮 光明

—高血圧をどのようにとらえるか・補遺—

心血管病、すなわち脳梗塞、狭心症、心筋梗塞、末梢動脈閉塞症などは増えており、今後一層の増加が予想されます。そのため血圧をコントロールするだけでは防げない合併症の対応策として、生活習慣、すなわち非薬物療法を再検討することが求められています。一九八八年

ません。この事実は血圧の上昇にナトリウム以外にもさまざまなもの複雑な要因が関わっていることを示唆します。血圧に關係するミネラルも、ナトリウム、カルシウム以外に、カリウム、マグネシウムがありますが、最近の研究から、ナトリウムの過剰にしても、カリウムやマグネシウムの不足にして、カルシウムの不足としても、カルシウム

ナナモア光線協会 医学博士 宇都宮 光田

上課地點在大英圖書館附近之某處

び重症高血圧症、拡張期血圧が105 mmHg以上)が原因と思われる脳出血は減りましたが、高血圧の大多数を占める軽症または境界域高血圧に対する降圧薬の効果認められおりません。加えて

ない脳卒中の多発地帯の秋田や山形における疫学調査で確立された観があります。また一部の例外はあるとしても、厳重な減塩食は高血圧に対して有効です。前述の米国合同委員会も、高血圧患者の食塩摂取量を一日に6g前後に制限するように勧めています。

教授です。小林教授は十五年間にわたり日本全国の河川の水質を調べ、河川の炭酸カルシウムの含有量と脳卒中の死亡率とは密接に関係することを立証しました。すなわち脳卒中による死亡率は河川の炭酸カルシウムの含有量の少ない地域で高く、多い地域で低いことを報告したのです。この研究成果は一九五七年に「河川の化学的性質と脳卒中死亡率との地理的関係」と題する論文で発表されましたが、河川の水質に影響を与えている土壤のカルシウム含有量が脳卒

内ナトリウムが増加するのを防ぐ、交感神経機能の亢進を抑える、などとされますが、詳細は明らかではありません。

運動は太陽光線の下で

身体活動の度合が血圧に及ぼす影響については、活動度の低い人が高血圧になる危険度は高い人の二、三倍で、運動は特に軽症または中等症高血圧の人には有効に作用し、過半数で降圧効果を認めると報告されています。この際の運動とは、毎日か少なくとも一日おきに少し汗ばむ程

米国合同委員会は、高血圧は
非薬物療法の重点はカルシウム
パラドックスの予防
降圧薬でコントロールすればよ
いとする医療現場に警鐘を鳴ら
し、生活習慣を見直すよう勧
告しました。カルシウムについ
ては、一面に記述したカルシウ
ム拮抗薬の研究からも裏付けら
れましたが、血圧の上昇に血管
壁のカルシウムパラドックスが
大きく述べられており、生活習慣
に基づいた非薬物療法でカルシ
ウムパラドックスを起こさない
ようにすることこそ、血圧をコ

肥満は高血圧の危険因子

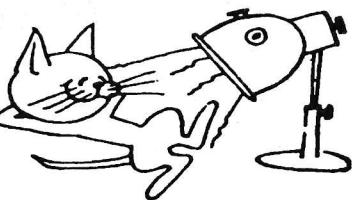
くとも一日おきに少し汗ばむ程度で三十分以上行なうことが望まれます。言うまでもなく、屋外で心地良い太陽光線を浴びて運動すれば、ストレスの解消、カルシウムパラドックスの予防に役立ちますので、降圧効果を高めます。

ようによることこそ、血圧をコントロールする上で最重要課題の一つと見なされています。換言すれば、食事で充分なカルシウムを摂り、日光を浴び、歩く、という生活習慣を身に付け、カルシウムパラドックスを防げば、骨粗鬆症以上の効果も期待できる

ほどほどのアルコールとは

ほどほどのアルコールとは
米国合同委員会は、アルコー

閉口薬以上の効果を期待できるのです。そして同時に次回に概説する動脈硬化を予防することにもなるからです。



☆慢性気管支炎に 起因した喘息

症状 慢性気管支炎のため、寒い季節に咳や痰に苦しんだが、A B カーボンで喉、背、足を照射すると、一、二週間で楽になる状態を繰り返してきた。60代半ばにゴルフでひどい息切れを覚え、三十年続けたゴルフも出来なくなり、それから三年程してヘビースモーカーからも足を洗えた。しかし昨年から咳や痰がひどくなり、光線をしても経過が思わない。五十年來の掛かりつけの医師に、「お前さんも気管支炎と喘息の繰り返し

☆アキレス腱断裂症例
58歳 男性
座敷でつんのめって転んだ際に右足のアキレス腱に激痛が走り、病院で右アキレス腱不全断裂と診断され、手術で縫合するにしてもギブスで固定するにしても、入院の必要があるといわれた。患者は以前からサナモアの愛用者で効果を知つていたため、光線療法で入院せずに治療ないかと来院した。

で腫れ上がり、アキレス腱の周辺は強烈に痛み、広い範囲に内出血を認めた。患者には経過にもよるが、手術が必要になる場合もあることを納得させた上で、治療院と自宅とで一日二回治療することとした。

は治療を重ねるごとに少しづつ
取れたので、患部照射を二日目
は2時間、三日目からは1時間
とし、全身照射は初回に準じて
行つた。

治療を初めて十三日、治療回
数は自宅治療を加えて二十六回
で、松葉杖を使わず自分で車を
運転できるまで改善したので、
その後は自宅治療にして当院の
治療を打ち切つた。

「一日一回」とし、患部照射はB.C.カーボンで右眼瞼を中心に集光器を使い30分、一日二回照射とした。

約一週間してから病院を受診したが、ほぼ良くなっていたので、医師は余りに早い治り方にびっくりしていた、といつていた。それからも一週間ほど、患部にB.C.カーボンで20分ずつ、一日一回照射し、痕も残さず完治した。後遺症もない。

春日市 育美健康光線療研
山崎 いく子氏報告
TEL〇九二一五八一一〇三九

分照射することにしたが、光線療法のキャリアーが長いこともあってカーボンを変えることを理解してくれた。また気の向いたときにしていると、いう乾布摩擦を習慣付けること、特に胸部は念入りにと話した。

三週間程して来所。はじめの数日は特に変わらなかつたが、一週間経つた頃から咳の回数や痰の量が減り、床に就いて眠り

TEL〇七八一三三二一一五八
☆**帯状ヘルペス**

井 標—B—のマークが必
院を勧められた。しかし入院し
たくないといつたら、塗り薬を
くれ、眼科も受診するように指
示された。眼科では帯状ヘルペ
スが角膜に及ぶと失明の恐れが
ある、といわれ、目薬をもらつ
て帰宅した。

ついてます。 東京光線療法研究所

☆帯状ヘルペス

サナモアカーボンの
類似品にご注意下さい

サンモア A、B、C、D カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」とともども愛用者各位の御信頼を頂き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことは、皆様方よくご存知の通りであります。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、サンモア A B C D と効果が同じという根も葉もないうたい文句で互換表を添付して販売している業者がいます。もとよりこのような道理にもとる行為をする者が何時何世にもいますが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任はもってませんので異々もご注意下さい。

(サンモアカーボンには、製造元イビデン株式会社の商標 B I のマークが必ずついてます。)

△五ページよりつづく

した二症例に併発していた外反母趾に光線療法を行った結果、好結果を得たので報告する。

症例

【患者1】 17歳 女性 バーレーボール選手

バーレーボールの試合で左足首を捻挫し、その治療で来所した。捻挫した左足は、足首から足の甲にかけてひどく腫れていって、足底部に内出血を認めた。また外反母趾のため母趾は第2指側に外転し、つけ根の関節部分は内方に突出し赤く腫れ痛みを訴えていた。そのため捻挫の治療に並行して外反母趾の治療をすることにした。

【患者2】 63歳 女性

膝関節の痛みの治療で来所した。階段の昇り降りがつらく、特に降りる時がつらいと訴えていた。なお日本舞踊を習っているが、正座ができず横座りしかできないとのことであった。また足は典型的な外反母趾の形状をしており、痛みのため足袋のこはぜが上から二番目までしか止められない。

療法経過

患者1は、捻挫した患部にはBBカーボンを使い、二台で治療したが(二灯照射)、一台は開放で、一台は集光器を使用して、照射部を移動させながら60分程照射した。治療を始めて二、三日はかかとをつけることができず、つま先立ちで歩いていたが、一週間で腫れと内出血が消失すると共にかかとをついて歩けるようになり、十日で完治した。

考案ならびに結語

患者1が17歳で外反母趾になつた要因に、外反母趾になり易い素因、すなわち足底が外方に向かい足の外側が床面から離れる外反足に加えて、常につま先立ちでジャンプと着地を繰り返す激しいトレーニングがあったと思われる。この点に関し、患者が外反母趾があつた時にはスニーカーの内側がすぐすり減つたが治つてからはそれもなくなつた、と言つていることと変形が完全に消失したことと裏づけていると考えている。

患者2の外反母趾は、足の筋群の筋力の衰えから来たと思われ、痛みは解消したが変形は残存している。そのため足の指回し、つま先立ち等、足の筋群の筋力をつける運動をしっかりとやつてもらつたことを申し添えておく。

患者2は、当初はBBカーボンで、腰、腹各10分、膝30分、膝裏10分、足裏10分、膝左右各10分照射した。約一ヶ月で膝の痛みは楽になりABカーボンに代えたが、その時点から外反母趾には集光器を使って15分照射するようにした。二ヶ月ほどで

月でこはぜがすべて止められるようになり、足袋をはくのが大変楽になったと喜ばれた。

(T E L ○四五一四〇一一一〇
二四)

(本紙の無断転用を禁止します。)

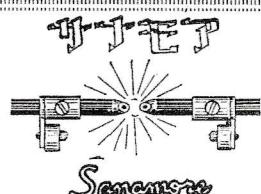
協会では、会員を募集しております。
入会希望者は、左記宛て申込み下さい。
〒153 東京都目黒区目黒4-6-18
サナモア光線協会 TEL(03)3793-1528
三七一一五三二二

天地創造の昔から、眞の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見える可視光線だけではなく、目に見えないが無くてはならない紫外線や赤外線を目的に心して適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。

サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会
医学博士 宇都宮 光明



サナモア光線協会
趣意書